



分とは全然違う意見や、共感できる意見など様々な意見があり、楽しかったです。あまり本を読む機会がなく、自分の意見を出したり考えをまとめたたりすることができなかつたが、先輩方や同級生の考えを自分の考えに照らし合わせながら話し合うことで、今回のテーマの本への考えや内容を深めることができました。

今回はこういうことが委員会です。初めてのことでもあり、意見を押しづらかったり、緊張してしまったりと少し反省したり改善すべきことがあったので、次の読書会では悪かった点をよくして参加したいと思えます。

◆1年2組11番 太田 翔眞  
私は今回の読書会に参加することができてよかったなと思います。なぜなら人によって違う意見が聞けてその中でも、なるほどと共感できたりするような意見や、個性的で聞いていて面白い意見を聞くことができました。それからです。その中でもネバランドという場所の在り方や、人を殺した人間に、幸せになる資格があるのかというテーマについては自分と違った意見でなるほどなと思いました。例えば一つの目のネバランドのテーマでは「過去を乗り越えていくもの」や二つ目のテーマでは「反省する意がある人のみ許されて、再生する意がないと幸せになれない」などの意見が出てきました。この意見は私からは出てこなかったのよかったです。

◆1年2組14番 片柳 孝夢  
今回の読書会に参加して僕は同じ本についている人な意見が交換できてとても有意義な時間になったと思えました。このようにな会に参加したのは初めてで、うまくできるか心配だったけど、スムーズに進行したので自分の意見を共有することができました。反省点は自分は結構発言したのですが、あまり意見の交流がなかったため、次もこのような会に参加するときにはもっと意見の交流が深まるような発言をしようと思えました。また、読書会に書いていない部分があったので、しっかりと埋めようと思えました。今回はこのよ

◆1年4組9番 川島 翔太  
私はこの本を読んで、書かれた内容を見て、内容をよく理解できませんでした。私のは本を読み理解できたのは本行がよくないと思ったところですが、これは一貫して感じたことであり、読み終わった後に最も納得できた感想であり結論です。

◆1年4組14番 佐久間大翔  
僕は今回の校内読書会による図書委員会の人たちの意見交換によって、今回読んだ現代小説の「暗闇の非行少年」について新たな視点を持つことができました。この小説は、三人の罪を犯した子供たちが「ネバランド」という仮想世界でその犯した罪と向き合っていくき、それを乗り越えていくというような物語であると思はれました。ほかの人たちも僕と似たような考えの人もいれば面白い考えをした人もいたので、非常に有意義な読書会だったと思えました。

◆1年5組38番 ムンタシルファミム  
この小説は複雑なキャラクターがあつて、非行少年たちの心理や犯罪の背後に隠された秘密を明らかにする場面が非常に魅力的だった。少年院から退院したハノは、再び犯罪をおこしそうになつた時、ティンカベルという人物に出会つた。ティンカベルはハノみたいな子供たちをネバランドや仮想共有空間へ招待していた。

現代の社会でも行き場所を失つた子供たちが、犯罪をおこしてしまう場面を見られます。自分は初めてネバランドについて読んだとき、そのような仮想共有空間のVR空間があれば、

救われる子供たちが増えるかもしれないと思えました。

◆1年5組34番 八山賢志郎  
校内読書会は今まで経験したことがなかったもので、最初のころは心配だった。自分では発表することが苦手なので悩んでいた。言えればいいのか悩んでいた。しかし、いざ当日になると、今まで思っていた霧囲気とは違い、明るくユニークな感じになつていった。皆堅苦しくなくユニークに発表していき、自分にあつた心配など忘れて発表することができた。初めての読書会だったが、何事もなく明るく楽しく読書会に参加することができた。

◆2年2組8番 梅沢 幸生  
私は今回読書会に参加して、自分では思いつかないような意見、考えを聞くことができて良かったです。「確かにそうだよなあ」と納得したり、自分では気づかなかったようなことに気づくことができました。しかし、びつくりしたことがありました。それはテーマである「人を殺した人間に幸せになる資格はあるのか」に対して、罪を償い更生しようとして生きているなら、罪を背負って生きていく気持ちを持つていけるならあるなど、私以外の全員があると答えたことです。私はしっかり更生しようとしていない人でも、幸せになる資格があるとはっきり答えることができないと思つていました。今回の本が罪を犯し更生しようとする人たちの視点で

書かれていたので答えたくなりますが、たとえ更生の意があつても被害者の周りの人からしたら大切な人を殺した人に変わりありません。その被害者側の人には、殺した人も幸せになる資格があると言えるでしょうか。

◆2年2組38番 山岸明日夢  
読書会に参加した感想は、しっかりと本を読んで感想を書いていく人が少ないと思はれました。僕はしっかりと本を読んでいなく、あまり校内テーマ、7校共通のテーマをかけませんでした。自分の反省点でもあります。しかし1年生の中には、テーマで聞かれていたことに対しての外れ多く、しっかりと読んでいないのだな、と感じました。2年生は比較的好く書けている人が多かったです。特に梅沢君の意見は共感できる内容がありよかったです。共通テーマである「人を殺した人間に幸せになる資格はあるのか」に対し、断定するような答え方をしないでなく、よいと感じました。

◆2年3組14番 堀越 陸斗  
今回初めて読書会をやつてみて、一冊の本でも人それぞれ全く違う意見や考えが生まれてくることを実際に知れて、とても良い経験になりました。

◆2年5組39番 吉田 海優  
私は読書会に参加して、とてもいい経験だつと感じました。最初は二人で行く予定だったところを、一人で行くことになりとても不安でした。しかし行ってみるとみんな優しくとても楽しい気分になりました。最初に交流を深めるために

中になれて読み終わるのにそこまで日はかかりませんでした。

今回進行の役も初めてやつてみて、全員の意見をまとめる難しさも経験できました。今回の読書会で得られた経験を別のことに生かせるようにしていきたいです。

◆2年3組27番 笹井 暖真  
私は読書会に参加することができて良かったと思はれます。なぜなら、読書会に参加したことによって自分とは違った感想や意見、また似たような意見などを聞くことができたからです。他の人と意見を交換したことにより、同じ物語の部分でも自分が感じていた視点と違う視点で物語について考えることができました。また同じような意見や感想の人もおり、今回は自分たちの感想や考えを発表するということ感じだつたけれども、そのような人達とも直接話し合うことができれば面白そうだと思います。これらの理由により、今回の読書会に参加することは自分にとつてもいい刺激になつたと思うので良かったです。

◆2年5組39番 吉田 海優  
私は読書会に参加して、とてもいい経験だつと感じました。最初は二人で行く予定だったところを、一人で行くことになりとても不安でした。しかし行ってみるとみんな優しくとても楽しい気分になりました。最初に交流を深めるために

中になれて読み終わるのにそこまで日はかかりませんでした。

今回進行の役も初めてやつてみて、全員の意見をまとめる難しさも経験できました。今回の読書会で得られた経験を別のことに生かせるようにしていきたいです。

◆2年3組27番 笹井 暖真  
私は読書会に参加することができて良かったと思はれます。なぜなら、読書会に参加したことによって自分とは違った感想や意見、また似たような意見などを聞くことができたからです。他の人と意見を交換したことにより、同じ物語の部分でも自分が感じていた視点と違う視点で物語について考えることができました。また同じような意見や感想の人もおり、今回は自分たちの感想や考えを発表するということ感じだつたけれども、そのような人達とも直接話し合うことができれば面白そうだと思います。これらの理由により、今回の読書会に参加することは自分にとつてもいい刺激になつたと思うので良かったです。

◆2年5組39番 吉田 海優  
私は読書会に参加して、とてもいい経験だつと感じました。最初は二人で行く予定だったところを、一人で行くことになりとても不安でした。しかし行ってみるとみんな優しくとても楽しい気分になりました。最初に交流を深めるために

中になれて読み終わるのにそこまで日はかかりませんでした。

今回進行の役も初めてやつてみて、全員の意見をまとめる難しさも経験できました。今回の読書会で得られた経験を別のことに生かせるようにしていきたいです。

◆2年3組27番 笹井 暖真  
私は読書会に参加することができて良かったと思はれます。なぜなら、読書会に参加したことによって自分とは違った感想や意見、また似たような意見などを聞くことができたからです。他の人と意見を交換したことにより、同じ物語の部分でも自分が感じていた視点と違う視点で物語について考えることができました。また同じような意見や感想の人もおり、今回は自分たちの感想や考えを発表するということ感じだつたけれども、そのような人達とも直接話し合うことができれば面白そうだと思います。これらの理由により、今回の読書会に参加することは自分にとつてもいい刺激になつたと思うので良かったです。

◆2年5組39番 吉田 海優  
私は読書会に参加して、とてもいい経験だつと感じました。最初は二人で行く予定だったところを、一人で行くことになりとても不安でした。しかし行ってみるとみんな優しくとても楽しい気分になりました。最初に交流を深めるために

中になれて読み終わるのにそこまで日はかかりませんでした。

今回進行の役も初めてやつてみて、全員の意見をまとめる難しさも経験できました。今回の読書会で得られた経験を別のことに生かせるようにしていきたいです。

◆2年3組27番 笹井 暖真  
私は読書会に参加することができて良かったと思はれます。なぜなら、読書会に参加したことによって自分とは違った感想や意見、また似たような意見などを聞くことができたからです。他の人と意見を交換したことにより、同じ物語の部分でも自分が感じていた視点と違う視点で物語について考えることができました。また同じような意見や感想の人もおり、今回は自分たちの感想や考えを発表するということ感じだつたけれども、そのような人達とも直接話し合うことができれば面白そうだと思います。これらの理由により、今回の読書会に参加することは自分にとつてもいい刺激になつたと思うので良かったです。

◆2年5組39番 吉田 海優  
私は読書会に参加して、とてもいい経験だつと感じました。最初は二人で行く予定だったところを、一人で行くことになりとても不安でした。しかし行ってみるとみんな優しくとても楽しい気分になりました。最初に交流を深めるために

中になれて読み終わるのにそこまで日はかかりませんでした。

今回進行の役も初めてやつてみて、全員の意見をまとめる難しさも経験できました。今回の読書会で得られた経験を別のことに生かせるようにしていきたいです。

◆2年3組27番 笹井 暖真  
私は読書会に参加することができて良かったと思はれます。なぜなら、読書会に参加したことによって自分とは違った感想や意見、また似たような意見などを聞くことができたからです。他の人と意見を交換したことにより、同じ物語の部分でも自分が感じていた視点と違う視点で物語について考えることができました。また同じような意見や感想の人もおり、今回は自分たちの感想や考えを発表するということ感じだつたけれども、そのような人達とも直接話し合うことができれば面白そうだと思います。これらの理由により、今回の読書会に参加することは自分にとつてもいい刺激になつたと思うので良かったです。

◆2年5組39番 吉田 海優  
私は読書会に参加して、とてもいい経験だつと感じました。最初は二人で行く予定だったところを、一人で行くことになりとても不安でした。しかし行ってみるとみんな優しくとても楽しい気分になりました。最初に交流を深めるために

中になれて読み終わるのにそこまで日はかかりませんでした。

今回進行の役も初めてやつてみて、全員の意見をまとめる難しさも経験できました。今回の読書会で得られた経験を別のことに生かせるようにしていきたいです。

◆2年3組27番 笹井 暖真  
私は読書会に参加することができて良かったと思はれます。なぜなら、読書会に参加したことによって自分とは違った感想や意見、また似たような意見などを聞くことができたからです。他の人と意見を交換したことにより、同じ物語の部分でも自分が感じていた視点と違う視点で物語について考えることができました。また同じような意見や感想の人もおり、今回は自分たちの感想や考えを発表するということ感じだつたけれども、そのような人達とも直接話し合うことができれば面白そうだと思います。これらの理由により、今回の読書会に参加することは自分にとつてもいい刺激になつたと思うので良かったです。

◆2年5組39番 吉田 海優  
私は読書会に参加して、とてもいい経験だつと感じました。最初は二人で行く予定だったところを、一人で行くことになりとても不安でした。しかし行ってみるとみんな優しくとても楽しい気分になりました。最初に交流を深めるために

中になれて読み終わるのにそこまで日はかかりませんでした。

今回進行の役も初めてやつてみて、全員の意見をまとめる難しさも経験できました。今回の読書会で得られた経験を別のことに生かせるようにしていきたいです。

◆2年3組27番 笹井 暖真  
私は読書会に参加することができて良かったと思はれます。なぜなら、読書会に参加したことによって自分とは違った感想や意見、また似たような意見などを聞くことができたからです。他の人と意見を交換したことにより、同じ物語の部分でも自分が感じていた視点と違う視点で物語について考えることができました。また同じような意見や感想の人もおり、今回は自分たちの感想や考えを発表するということ感じだつたけれども、そのような人達とも直接話し合うことができれば面白そうだと思います。これらの理由により、今回の読書会に参加することは自分にとつてもいい刺激になつたと思うので良かったです。

◆2年5組39番 吉田 海優  
私は読書会に参加して、とてもいい経験だつと感じました。最初は二人で行く予定だったところを、一人で行くことになりとても不安でした。しかし行ってみるとみんな優しくとても楽しい気分になりました。最初に交流を深めるために

中になれて読み終わるのにそこまで日はかかりませんでした。

今回進行の役も初めてやつてみて、全員の意見をまとめる難しさも経験できました。今回の読書会で得られた経験を別のことに生かせるようにしていきたいです。

◆2年3組27番 笹井 暖真  
私は読書会に参加することができて良かったと思はれます。なぜなら、読書会に参加したことによって自分とは違った感想や意見、また似たような意見などを聞くことができたからです。他の人と意見を交換したことにより、同じ物語の部分でも自分が感じていた視点と違う視点で物語について考えることができました。また同じような意見や感想の人もおり、今回は自分たちの感想や考えを発表するということ感じだつたけれども、そのような人達とも直接話し合うことができれば面白そうだと思います。これらの理由により、今回の読書会に参加することは自分にとつてもいい刺激になつたと思うので良かったです。

◆2年5組39番 吉田 海優  
私は読書会に参加して、とてもいい経験だつと感じました。最初は二人で行く予定だったところを、一人で行くことになりとても不安でした。しかし行ってみるとみんな優しくとても楽しい気分になりました。最初に交流を深めるために

中になれて読み終わるのにそこまで日はかかりませんでした。

新着任者座談会  
テーマ 私と読書  
令和5年5月26日(金)  
於 社会科学教室

ゲームをしました。それで少し打ち解けあい、その後の読書会は程よい緊張感で臨めました。他校の人たちとの意見交換は、校内読書会の時よりも様々な意見が飛び交い、自分の考えをより深められました。やはり様々な人が集まると意見も一人一人が様々な角度から物語を見ているなど感じました。他校の人たちと話し合うのはこれが初めてだったので、不安でした。でも、意見交換はとても重要で貴重なものだったので、とにかく頑張りました。とても貴重な時間をくださったありがとうございます。

◆2年5組2番 猿橋 一粋

今回1、2年の図書委員で校内読書会やってみて良かったところ、悪かったところどっちもあるように感じた。良かったところは、これから受験勉強を控えている私たち2年が他学年の1年と交流できたことだ。自分たちの考えだけでなく、他学年の意見を取り入れることで、様々な角度から意見を出し合うことができた。悪かったところは、読書会に関係ない話を1年が笑いながら話していたことだ。確かに他学年の考えを聞くことは大切だが、関係のない話をしても、関係のない話がより減ってしまう。それを防ぐために今後読書会を聞くときにはどうしたらいいか考える必要があると思った。

第一学期期末考査最終日、新着任の先生方に読書体験を話していただく新着任者座談会が開催されました。

- ① 一行の本棚(心に残っている本、おすすめの本の中の、「これ」という一行)
- ② 好きなジャンルの本・作家
- ③ 読書の「きっかけ」
- ④ 活字離れの高校生へ向けて
- ⑤ 電子書籍について



亀井 絹子  
先生(英語)

① 「いちばん見たいせつなことは、目に見えない」  
『星の王子さま』サンIIテグジュペリ)

② 気になったものは何でも読みますが、あえてジャンルを選ぶなら日本の小説です。学生時代は、近代日本文学と分類されるものを比較的多く読んでいました。一番好きだと思ふ日本の作品は井上靖の「額田女王」です。海外の作品ではサンIIテグジュペリの「星の王子さま」です。大人になってからは、椎名誠、宮部みゆき、杉浦日向子などは複数の作品を読みました。

③ 「きっかけ」は記憶にありません。幼稚園に入る前から家で絵本や図鑑を眺めていました。多分文字も読んでいました。小学生の頃から、新聞を読んだり、図

書館で気に入った本を繰り返し借りたりするなど、いわゆる「本の虫・活字中毒」であったと思います。

④ 月並みですが、(読む人にとっての)よい作品との出会いがあれば、もっと読んでみよう、という意欲がわくのではないかと思います。まずは広く浅く作品に触れる機会があるとよいのではないのでしょうか。

⑤ 本そのものの美しさ等を味わうことができなかったり、個人の嗜好に合った読み方ができなかったりするので、電子書籍が実物の書籍の完全な代用品になるとは思いませんが、若い世代の人たちが少しでも書籍に触れる機会を提供するものとして、存在価値はあると思います。私自身は、使い始めるとはまってしまおうと思うので、手を出していません。



江森 聖弥  
先生(国語)

① 人間の身体は食べ物でできています。食べ物が変われば、体型、体質、寿命や健康状態が変わります。同じように、入ってくる言葉が変われば、思考が変わります。出会う人が変われば、志、生きる目的が変わっていくのです。

② 『書齋の鍵』喜多川泰) 新書をわりと、広く浅く読んでいます。ですが遅読なので、読書量はさほど多くないです。好きな作家は、ダン・ブラウンです。

出版されているものはすべて読んでいるかと思っています。

③ 小学校の読書月間とかの取り組みでしょうか。友達と競い合って「かいつぞろり」シリーズとか「ずっこけ三人組」シリーズを借りました。迷路の本も好きで、幼稚園の頃には毎日開いていました。

④ 私的に書かれたブログやツイッターなどではなく、公に書かれた文字を読む習慣をつけるのいいと思います。あとは、手元にあるから読むわけなので、本を買ってしまうことが読書につながるでしょう。そのためにも、本屋や古本屋など、直接本を手に取り、買うことができる場所に行くことが第一歩だと考えています。(サンクコスト効果ってやつですね)

⑤ 多くの娯楽があるいま、書籍に触れる一つの手段としてありたいと思います。紙媒体も電子書籍もそれぞれの良さがあるので、手軽に読むことができる電子書籍は出版業界にとっても、個人にとってもメリットがあると思っています。



増田 寛己  
先生(数学)

① 僕らは今、人生の責任を自分ですべき背負わねばならない社会を生きています。それはわかっている。しょうがない。そういうルールです。でも、その苦しさを誰か

が聞いてくれるとき、部分的ではあるだろうし一時的なものかもしれないけれど、僕らは一瞬、責任を誰かが分け持ってくれている気がします。

② 主に実用書を読みます。好きな作家等はありません。本屋で気になった本をふらっと買って読むので、こだわりはありません。

③ 教員という仕事をするようになったからだと思います。学生時代にはそこまで本は読まなかったのですが、生徒と接するうちに、人数の内的な心理等に興味を持つようになりました。僕自身、何かきっかけがないと読書は長続きしない人間なので、仕事と直結することが読むきっかけになったのだと思います。

④ 私自身も本はあまり読まない人間ですが、ふらっと立ち寄った書店で見つけた気になる本を買うことはあります。高校生自身が本屋に立ち寄る機会が昔よりもないのかもしれない。例えば、市内の書店の場所や、図書館の場所等、生徒に紹介することで、まずは足を運んでもらうのが、重要なのではないかと思います。

⑤ 本を何十冊、何百冊と持ち運ばなくても、コンパクトな形でいろいろな書籍を読むことができます。おもしろい方法だと思います。おそらく、これからの時代電子書籍はより広がりを見せ

ると思いますが、それによって紙面の本を読む機会は失われてほしくないとも思います。



中溝 貴善  
先生(保健)

① 「デジタル化が進む今、人間は自らをどんな危険にさらしているんだらうか。大人だけでなく子供まで巻き込んで、まるで壮大な実験をしているみたいだ。」  
『スマホ脳』アンデシュ・ハンセン)

② ホラー小説―山田悠介 SF 小説(宇宙・近未来)

③ 知らないことを知りたいたいと思うようになった。自分の価値観にない世界を知ることのできる面白さに気づいた。

④ 興味があること、好きなことについての本を1冊何回も読み返す。  
・「本を読む」よりも「本から学ぶ」ことを意識する。



吉本 唯  
先生(英語)

⑤ 個人的には良くは思わない。場所もとらないし、多くを運ぶ必要もないので、スマートフォンであると思うが、目が書籍よりも疲れて長時間読むことができない。また本は何かを書き込みながら何回も読むことで多くの発見があると思うので、1冊の重みを大切にしたい。

て扁べったくなくて、間もなく熔鉱炉から出た銅の汁のように、砂や砂利の上にひろがり、しばらくは鳥の形が、砂についているのでしたが、それも二三度明るくなったたり暗くなったりして、いまわりと同じいろになっってしまうのでした。

② 文芸書が好きです。特別好きな作家が決められるほど詳しくはありませんが、現在読んで読んでいるのは伊坂幸太郎さんの小説です。

③ 間違いなく祖母の影響です。幼稚園教諭だった祖母は絵本や児童文学を集めるのが趣味で、部屋の壁一面がそれらで埋め尽くされています。昔は自宅で読書会を定期的に開催していました。いつもそれを楽しみにしていたのをよく覚えています。

④ まずは本を読むことの楽しさを発見することが大切だと思います。オーディオブックは、他の好きなことをしながら本を聴くことができるので、とてもおすすめです。聴いているうちに、きつと活字でも読みたくなってきました。

⑤ スペースを取らないし、いつでも好きなときに参照できるし、とても便利だと思います。ただ、本当に気に入った本は実物も購入して手元に置いておきたいです。



藤田 拓也  
先生(数学)

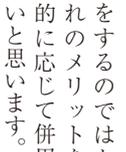
① ほんとうに学問を深め、それを活かすために新しい心の創造がなによりもまず大切なことである。『いかにして問題をとくか』(ジョージ・ポリャ)

② 科学系の本が多いです。特に物理学と数学に関する本を積極的に読みます。

③ 自分の知らない現象を知りたい、他の人よりも詳しくなりたいと思ひ、小学生の頃に理科辞典を読み始めました。今はもう忘れてしまいましたが、天気記号をすべて覚えようとして、挫折したことを覚えていています。

④ 活字離れが進んでいるということは、それが時代の流れであり、無理に逆らう必要はないのではないかと思います。やはり、映像や絵が挿入されている漫画の方が、瞬間的に情景が浮かびやすいのは確かですが、活字離れが進んでも、文章から書いた人の気持ちも汲み取ることのできる人にはなつてほしいとも思います。

⑤ 自分は利用しています。私は、漫画は本棚にズラッと並べたいという気持ちがあるので、電子書籍では買いません。どっちかにするとういう極端な選択



和泉 昇  
先生(国語)

① 「待つちよつたぞ」「失敗じゃった」

② 歴史小説 司馬遼太郎

③ 読書会、仲間、図書館

④ 丁寧な字を書く練習と癖をつけること

⑤ 必要に応じて利用することが大切



坂本 義朗  
先生(英語)

① It is only with the heart that one can see rightly; what is essential is invisible to the eye.

② Love does not consist in gazing at each other, but in looking together in the same direction.

③ 愛はお互いを見つめ合うことではなく、ともに同じ方向を見つめることである。

④ 『星の王子さま』サン・テグジュペリ

⑤ 好きなジャンルは特になく、好きな作家も特になく、書店で実際に手に

取つてみて気に入った本を読みます。

③ 大学時代、野球部に所属していた際、選手として戦力外になり学生コーチというポジションになり、コーチというポジションのスキル、人間性等を身につけるために考えたことがきっかけです。

④ 周囲の選手は甲子園常連校出身者が多数おり、そういった選手たちに館林高校という無名の公立高校出身、ましてや選手を戦力外になった私の指導をどうしたら受け入れてもらえるかを考えた手段の一つが、読書して様々なことを学ぶということでした。

⑤ 生活する上で、「こうなりたい」「こうしたい」という気持ち芽生える時がきます。そういった時に、情報を得たり、何かを学ぶのは多かれ少なかれ書籍やSNS(インターネット)等からが多いと思います。そのときに生きる指針になったり、モチベーションにつながったりするもの一つが活字です。「自分の成長のため」それが「周囲の幸せ」につながることもあります。そのようなきっかけ作りという意識で活字に触れてみて下さい。私も自分が前に進むために本を開き、一つひとつの文字をしっかりと頭に染み込ませ、私自身の熱意をメモ帳やグループLINE(ひとり)に吹き込んでいます。

⑤ 実際に電子書籍を読んだ経験がありません

が、目が疲れそう……、という印象です。しかし、人それぞれライフスタイルが違ふため、利便性を考えたときに、荷物にならず、スマートフォンやタブレットを持つていけば、電子書籍が便利ということであればそれはそれでいいと思います。一方で、書籍を「買って読む」「買ったからには読む」という考え方もアリだと思います。ちなみに私は買って満足してしまうことが多いです。



齊藤立夏子  
先生(地歴公)

① しかし翅は透き通るような薄緑だった。女の指の長さほどある翅だった。その向こうに連なる国境の山々は夕日を受けて、もう秋に色づいているので、この一点の薄緑は反って死のようであった。

② 『雪国』川端康成

③ 歴史系とはまた異なりますが、川端康成の小説を、ふと読みたくなります。

④ 幼いとき、母が絵本を買ひ与えてくれたことで、自然と見て、読んでいたと思います。

⑤ 分厚い本を読もうとなつたのは、図書室の隅の、「怪人二十面相」を見つけたときです。

⑤ 読む必要を感じなければ、読まなくていいかと思

います。(私は授業で新書などの文章を用いますが、それをきっかけに活字に近づいてくれた生徒もいました。)

⑤ 用途で使い分けられそうなので、今後導入するかもしれないです。



新井 貴大  
先生(理科)

① 私たちは遺伝子をひとつ失ったマウスに何事も起こらなかったことに落胆するのではなく、何事も起こらなかったことに驚愕すべきなのである。動的な平衡がもつ、やわらかな適応力となめらかな復元力の大きさにこそ感嘆すべきなのだ。結局、私たちが明らかにできたことは、生命を機械的に、操作的に扱うことの可能性だったのである。『生物と無生物のあいだ』(福岡伸一)

② 好きなジャンルはエッセイ的(ノンフィクション)なもの

③ 好きな作家は特になし

④ 大学時代、私と同じように読書嫌いだつた友人から、「これなら読めた」と勧められたこと。

⑤ メルカリで安く売つていたので試しに買ってみると、珍しく読み切ることができた。

④ 知見や価値観を広げるためのひとつの方法であると思うので、一概に読書を勧めることはしない。

⑤ 購入の手間や持ち運ぶ負担が省けるので便利な

ツールだと思ふ。今後より一層普及するのでは？ただ、「もの」として書籍を欲しがる人もいるので、すべて電子書籍に置き換えることはないかと。



澤田 一也 先生(事務長)

① 走るの好きか？  
「風が強く吹いている」三浦しをん

② 今はほとんど読んでいませんが、以前は宮部みゆき、東野圭吾、三浦しをんなどを読んでいました。

③ 図書館

④ 図書室・図書館に行き興味のある本を手にとってみることから始める。

⑤ 目が悪くならない程度に利用するのがいいのでは。



豊田 晋平 先生(事務)

① 「名も無き家事が夫婦を分かつ」

② 「妻のトリセツ」黒川伊保子  
③ 子育てに関するエッセイを読むことが比較的多いです。その他、料理本はよく読みます。

④ 好きな作家は特におりません。

⑤ 学生時代は映画等を観たことがきっかけで、その作品を詳しく知りたくなり、原作を読むことがありました。

⑥ 今まであまり興味が無かった内容の書籍でも、読み始めてみると意外と面白

いことに気づくこともあるので、まずは簡単に書籍を手にとることができるよう環境を整えることができると良いかと思ひます。

⑤ 興味を持った書籍を「試しに読み始めてみる」ということが簡単にできるため、様々な書籍に触れるきっかけになると思ひます。また、短い休憩時間にも読むことができるので、まとまった時間を割くのが難しい生活をしている場合にも利用しやすいと思ひます。



図書館主催講演会

「古事記神話のポストモダン」

講師 吉田 俊宏 先生

12月1日(金) 第二学期期末考査最終日、吉田俊宏先生(国語)を講師にお迎えして、図書館主催の講演会を会議室で開催しました。講演内容は次のとおりです。



「古事記」とは天皇の系譜をしるした歴史書である。「古事記」において天皇の

系譜は神からはじまる。そのへんからしてウサンくさい。天皇は神の子孫である。わけがない。そういうことを津田左右吉は「古事記及び日本書紀の研究」であきらかにした。そこから日本の神話研究は民俗学、文化人類学へとひきつがれてゆく。信仰のありようをつきとめようとするそのありかたにはムリがある。だっどこにも証拠はないのだから。私たちの目の前には「古事記」や「日本書紀」といった文献はなく、そこからさかのぼって原神話をさぐるうとしてもさぐれるわけがない。そもそも「日本神話」なるものはないのだ、と喝破したのは神野志孝光である。私たちが知りえていた神話は「古事記」や「日本書紀」という書物のなかで編集された「神話」にすぎないのである。存在するのは「古事記神話」や「日本書紀神話」であってそれ以外のものではない。神野志は閉じられたひとつのテキストと解釈として、「古事記」にえがかれた「國」葦原中國「つくりにかかわる」高天原、「黄泉國」、「根之堅州國」の「場」としての必然性をときあかした。私は

界には「構造主義」の嵐がふきあれていた。その余波は地方国立大学でクダをまいていた私のところにもどくわけでは、私は自身の卒業論文をロラン・バルトの「物語の構造分析」を手がかりにポスト・モダンを作品論にあげようとしてみた。のではあるが、ロラン・バルトはあまりに難解であり、私の手にはあまり、手におえるものではなかった。残念である。だからといって、「古事記神話」をテキスト論的によみといてゆこうという姿勢をうしなつたわけではない。私はきわめて我流に「古事記神話」分析をおこなうことにしたのである(このような立ち位置の表明は「いま」だからできることである。大学四年当時の私にそこまでのカシコさはなく、教授陣に「きみの方法はなんなの？」といつめられてもシンドロモドロであった。当然のことながら卒業論のタイトルも「古事記神話研究」というあたりさわりのない陳腐なものであった)。「古事記」上巻における神話の原動力は「修理固成是多陀用弊流之國」である。伊耶那岐命と伊耶那美命が天神の命をうけて「國」つくりをする

「事情」があるのか。ここで詳細に「物語」にはたたいれないので、くわしくは「古事記」を参照してもらおうしかならないのだが、「國」つくりはきわめて「私的」な「事情」によって逸脱をくりかえすのである。伊耶那岐命と伊耶那美命の「國」つくりは伊耶那美命の死によって中断する。「國」つくりは共同作業なので、伊耶那岐命は黄泉國にむき伊耶那美命をつれもどそうとする。ところがそのとき伊耶那岐命は伊耶那美命との約束をやぶり奪還に失敗する(私情①)。そのせいでたちゆかなくなつた「國」つくりは三貴子とよばれる天照大御神、月讀命、須佐之男命らにひきつがれる展開となるが、それら「牝の國」である根之堅州國にゆきたい」という須佐之男命のわがまま

を完成させることになる。どういうことか？  
「古事記」の「國」つくり神話は、黄泉國「根之堅州國」においてきた女を男が葦原中國につれもどすという行為と構造的にかさねあわせられるのだ。いくつかの「神話(説話)」を再構築するときになされたこの発想はきわめて物語的な想像力のあらわれではないだろうか(まるで「物語のいできはじめの祖」である「竹取物語」めいた?)。「歴史」とは「事実」である。「竹取物語」は「事実」である。その「事実」はいかに継承され「歴史」となるか、といえ「かたりつく」「かきつく」ことによつてでしかありえない。しかし、かたりつがれかきつがれた「事実」ははたして「事実」なのだろうか。ひとはそこまで正直だろうか。「物語の哲学」のなかで野家啓一は、かきしるされて目のまえにあるものだけが「事実」である、というようなことをのべている。ききしつた「事実」をひとが脚色してかたりついでいったとしてもそれが認知されたたん「真実」となるのだ。となると「実像」と「虚像」とはおなじものである。「歴史的事実」とは「歴史的虚構」である。フランス語の Histoire は「歴史」であり「物語」も意味する。「古事記」という書物を「歴史」とみるか「物語」とみるかはアプローチのちがいにすぎない。「古事記神話」は物語的想像力によつて再構築された虚構なのである。

人気貸出図書

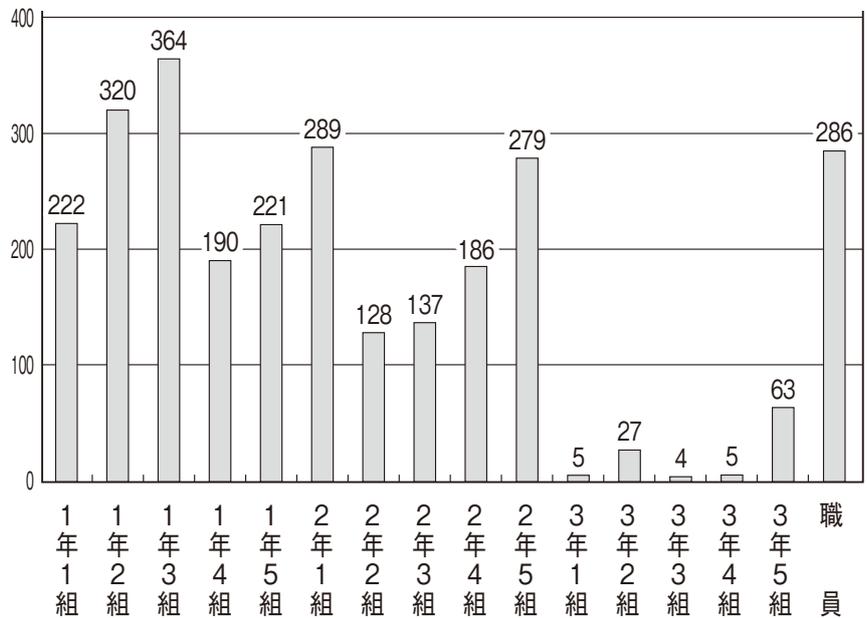
順位	書名	利用者数
1	ラーメン屋 VS. マクドナルド 新潮新書 (竹中正治著)	6
	スマホ廃人 文春新書 (石川結貴著)	6
	エビはすごい カニもすごい 中公新書 (矢野勲著)	6
	汝、星のごとく (凧良ゆう著)	6
2	ジャガイモの世界史 中公新書 (伊藤章治著)	5
	宇宙は何でできているのか 幻冬舎新書 (村山齊著)	5
	スマホに満足してますか? 光文社新書 (増井俊之著)	5
	フェイクニュースの見分け方 新潮新書 (鳥賀陽弘道著)	5
	君たちはどう生きるかの哲学 幻冬舎新書 (上原隆著)	5
	インターネット・ゲーム依存症 文春新書 (岡田尊司著)	5

貸出利用冊数上位者

順位	クラス	氏名	利用数
1	2-1	深澤 忠将	117
2	1-2	新井 祥太	90
3	1-3	栗原 空良	75
4	1-2	佐久間歩汰	70
5	2-5	吉田 海優	67
6	2-5	小川 凱矢	47
7	3-5	石橋 義基	43
8	2-1	長内 慎吾	35
9	1-3	飯野 瑛太	29
10	1-1	小林 凜空	28

クラス別貸出冊数 本年度総数 2,726 冊

2023.4/1~2024.1/12 (昨年度総数 2,343 冊)



図書委員回顧録

「図書委員会活動を振り返って」

3年5組 高際 孝明

図書委員としての一年間が終わり、改めて振り返ると、この経験は私にとって非常に有意義なものでした。一・二年生のとき私は大成編集委員に所属していました。三年生では文章を書く以外の仕事で、図書委員に所属することを決めました。しかし、またこうして文章を書く仕事が回ってきてしまいました。この機会に一年間の活動や私の成長について振り返ろうと思います。

私があると学びました。私は図書委員に所属したことをきっかけに本を読むようになった。読んだ本にも少し紹介もします。昨年の校内読書会でも扱われた『よるのぼけ』を読みました。本の中の自分とは何かについてや、その空間での仲間意識について考えさせられる深い話でした。私は本を読む楽しさを知ると同時に、本が伝えたいことについて考えることでより面白くなることになりました。図書委員に所属して、本を読む量が増えたことは一番の成長だと思っています。

これらの図書委員の活動を通じて、まず学校が新書読破月間で図書室に足を運ぶきっかけを作り、新書以外の本にも触れるきっかけを作っているという気づきがありました。そして、本を読むことの意味や大切さについて考える事ができました。実際に本を今年も数冊読みましたが、どの作品にもそれぞれ伝えたい事があり、学びがありました。

これからもたくさんの方に会う機会があると思います。この一年間で経験してきたことを活かして、たくさん本と関わっていかうと思っています。

